

# 御前山ビオトープ通信

令和元年6月9日

第56号

発行：御前山ダム環境センター

メール：[denen21@ktb.biglobe.ne.jp](mailto:denen21@ktb.biglobe.ne.jp)

ホームページ：<http://www7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/>



## 目次

1. ダム湖周回遊歩道の調査
2. 春の山桜ウォーク
3. 「田んぼの学校」田植え
4. 春のビオトープ育成活動

## 【案内図】



## 1. ダム湖周回遊歩道の調査

「ダム湖を眺めながら周回できる道があるといいね」ということは、かねてからの懸案事項でした。しかし、自然環境保全区域であり大掛かりな工事は制限され費用も掛かるなど具体化には課題がありました。歩くだけの遊歩道なら自然を壊すことも少ない、皆のボランティア作業なら費用もそれほど掛からないのではないかと提案がありました。

とりあえず、どんなルートがあり、どのような方法があるか現地を見て歩きながら考えようと、2月16日（土）に現地調査で歩いてみました。

ダム左岸袖部の進入道路の終点から、藪をかき分けながらの工程です。前半は用地杭があり、比較的平坦な地形で、頂上からはダム湖の素晴らしい眺望も確認できました。ただ、後半はかなりの急傾斜地が続き、女性や子供も歩ける遊歩道となると慎重なルート選定が必要と感じました。

3月20日（水）にも再度女性や役員を含めての調査となり、後半は厳しい地形を少しずつ迂回するルートを探しましたが、どうしても民地に入ってしまうのが課題でした。



遊歩道山頂からダム湖

## ダム湖周回ウォーク参加者 ダム湖に映える山桜をバックに



さらに5月27日（月）には地方創生費の活用が可能として、私有林を通るルートの調査を行い、全ルートについて概略のイメージができてきました。本年度後半から具体的な作業に入ることで打ち合わせを行いました。

## 2. 春の山桜ウォーク

恒例の春の山桜を眺めながらダム湖を周回する「ダム湖周辺を歩く会」が4月13日（土）



に行われました。

なかなか山桜が満開となるタイミングと合わないことが多いのですが、今年は晴天に恵まれ最高の日和となりました。8時半にダム公園に集合し、挨拶や準備体操を行い元気に出発しました。参加者は申込者が148名で、関係者や会員等を含めて約200名くらいでした。

三次常陸大宮市長にも参加を頂きました。桧山大橋では市長と一緒にエノキの植栽を行い、アンケートでは、知らない人と新しい出会いがあって良かったなどのコメントがありました。



子供達は最初は恐る恐るでしたが、桧山の皆さんの丁寧な指導で徐々に慣れてきて、想定より早く進みました。

天気にも恵まれ、生徒たちもとても楽しそうでした。

### 3. 「田んぼの学校」田植え

5月30日(木) 桧山集落の田んぼにおいて御前山小学校5年生の田植えを行いました。

生徒は23名、先生4名、会員が25名程度の参加でした。



### 4. 春のビオトープ育成活動

6月6日(木)に春のビオトープ育成活動を行いました。今回も大勢のボランティアの協力を頂いて初夏らしい快適な天気で気持ちよく作業ができました。

林間の移植地について周辺整理と竹柵を補修し、きれいになりました。ただ入口のフタバアオイ群落の一部が消えかかっていたことから、今後周辺環境などを観察し対策が必要となりました。

湿地のタコノアシは田んぼ移植地で旺盛な状態でした。アギナシ等については、いつもの選抜草抜きとともに水芭蕉の株分けを行いました。また水利施設の点検整備として、取水口から下流に向かって作業を行い、特に各圃場の取入れ口の堰上げなどを補修しました。さらにイノシシ被害で崩壊した畔の補修を行いました。これで株分けした水芭蕉などの今後の生育が期待できます。

作業後は桧山公民館に移動して昼食をいただきました。

